

### スローガン

1. 下水道による残業務の安定の継続のため、合理化事業計画の推進、転換業務の獲得
2. 下水道に接続されない浄化槽（合併）の社会的地位の確立
3. 新浄化槽維持管理システムへの推進
4. 浄化槽（合併）を併用した農業集落排水処理事業計画の実現
5. 市町村の責務である一般廃棄物処理計画の策定推進
6. 一般廃棄物収集運搬業の責任業務の遂行

# 広報 福島環境整備連

発行

福島県環境整備協同組合連合会

住所/伊達郡桑折町大字伊達崎字前川原田3番地

TEL 024-573-0710 FAX 024-582-5370

発行者 山川正人

編集責任者 瀬戸崇志



## 会長就任のあいさつ 福島県環境整備協同組合連合会

会長 山川正人

この度、創立68年の歴史を伝統を紡いだ当連連の6代目、前身の県清掃連から8代目の会長を仰せつかりました山川正人と申します。2013年より任期にわたり会長を務めた岡光義氏の様々な功績を引き継ぎ、新たな体制での船出となりました。若輩者でありますので至らぬ点

も多しと思いますが、皆さまおらためましてよろしく申し上げます。近年の全環連や当連合会の活動を思い返すと、感染拡大防止に協力するあまり、どうしても様子見の様な事業運営を行っておりました。しかしその最中に、中央では自民・立憲それぞれに策定した議選発信で浄化槽関連の環境省局長通知の通発信や、浄化槽清掃率100%に向けた各市町村の区域割の調査など、令和8年に迎える下水道の10年概成に向けて、あらためて浄化槽での排水処理が注目されると共に、SDGsなど環境

配慮が進みペーパーレスなどカーボンニュートラル・資源循環への挑戦が私たちの日常に入り込み、一般廃棄物も固形・液状の隔なく持続可能な地域社会無くしては、私たちの業務存続はあり得ない現状が差し迫っております。そんな時代の変化に対応するため、全環連や当連合会においても、多くの組合員各社が、ご自身などに浄化槽清掃技術者講習を受講され次世代への事業承継を行なう、急速に組合員の皆さまの顔ぶれが変化してきております。そして、そんな皆さまらへ10年後には次の

配属が進みペーパーレスなどカーボンニュートラル・資源循環への挑戦が私たちの日常に入り込み、一般廃棄物も固形・液状の隔なく持続可能な地域社会無くしては、私たちの業務存続はあり得ない現状が差し迫っております。そんな時代の変化に対応するため、全環連や当連合会においても、多くの組合員各社が、ご自身などに浄化槽清掃技術者講習を受講され次世代への事業承継を行なう、急速に組合員の皆さまの顔ぶれが変化してきております。そして、そんな皆さまらへ10年後には次の

配属が進みペーパーレスなどカーボンニュートラル・資源循環への挑戦が私たちの日常に入り込み、一般廃棄物も固形・液状の隔なく持続可能な地域社会無くしては、私たちの業務存続はあり得ない現状が差し迫っております。そんな時代の変化に対応するため、全環連や当連合会においても、多くの組合員各社が、ご自身などに浄化槽清掃技術者講習を受講され次世代への事業承継を行なう、急速に組合員の皆さまの顔ぶれが変化してきております。そして、そんな皆さまらへ10年後には次の

新会長所信表明では、今後の業界を担う当連合会青年部を親睦活動以外にも活性化させるために、経験や知識の底上げや、互いを理解する機会の創設、そして私たちの業務に直結した対内・外的活動などを積極的に実施できる様に今年度からバックアップするとの宣言がなされ

た。議事では議案第1号の令和4年度事業報告承認の件から第8号の役員改選の件までを審議した。収支決算、事業計画、収支予算などを可決したのに続き、任期満了に伴う役員改選で新役員を選出した。また同日開催した第2回理事会で山川会長の新

三役および新専務理事を決定し、監事も新たに2名選任した。事業計画の柱は①適正業務の推進と適正料金の確保 ②組織強化対策活動の推進 ③下水道計画の見直し等行政機関への要望活動等の展開強化 ④浄化槽維持管理システムの徹底 ⑤浄

化槽保守点検・清掃技術のスキルアップのための研修事業 ⑥改正浄化槽法への対応について ⑦廃棄物リサイクル対策と環境経営の推進など。

また、通常総会後、数年ぶりに多くの参加者をお招きした懇親会が開催され、来賓として郡山市長 品川萬里さま、衆議院議員 根本 匠さま、前参議

院議員 増子輝彦さま、県議会から渡辺義信議長および佐藤徹哉議員、県浄化槽協会 大河原正一前会長が出席。各来賓からご挨拶を賜った。

令和5年度通常総会

# 新会長に山川氏選任 事業運営方針を精査し 10項目に整理・次世代育成重視

福島県環境整備協同組合連合会は令和5年5月26日、郡山市の郡山ヒューホテルアネックスにて令和5年度通常総会を開いた。役員改選で新会長に山川正人氏を選出、事業計画を審議しこれまで増える一方であった事業運営方針を、あらためて10項目に整理し内容を改めることなどを決めた。



令和5年度 福島県環境整備協同組合連合会通常総会

# 会長退任のちあらた「10年間を振り返って」

## 福島県環境整備協同組合連合会 理事 岡 光義



今年度6月の総会をもちまして福島県環境整備協会会長を退任いたしました。平成25年に就任してから10年間多くの皆様を支えられ会長職を全うできた事、そして後任の山川正大氏にスムーズ

に引き継いだ事は何よりもうれしく思います。思い返せば東日本大震災の影響が色濃く残る時期に会長に就任し、被災地域の業者支援や行政交渉等を実施しましたが、双葉郡および周辺地域においては十分な支援ができたか心残りがあります。また令和2年には豪雨災害で地味いわきの業者が被災しその対応に追われながらも、郡山市の処理場水没の支援活動にも奔走しました。そして新型コロナ発生により

様々な事業が中止や延期となり最後の3年間は停滞の時期でしたが、浄化槽管理士講習の福島県単独開催等、組合員にとって必要な事業はできたかと思えます。許認可問題、料金改定、災害支援等においては法律を熟知したうえでの行政交渉が必須です。特に青年部の皆さんは勉強を怠らずに頑張ってください。ありがとうございました。

# 環境整備 新役員 (令和7年度総会まで)

役職	氏名	組合名	会社名
顧問	根本 茂	北 沼 南 北 市 達 市	(株)アメニティいわき
相談相	佐藤 正人	両 県 福 安 郡	(株)ひまわり
会長	山川 孝之	山 郡	山川産業(有)
副会長	猪俣 幸雄	山 郡	坂下清掃(有)
専務理事	本多 勇人	山 郡	(株)福島県南環境衛生センター
理事	山岸 大介	北 市	和泉総業(有)
"	山岸 志大	福 島	福島環境整備工業(有)
"	難波 公伸	安 山 郡	(有)協同清運
"	江口 典志	山 郡	郡山清興(株)
"	松宮 秀泰	アメリティ郡山	(有)福島青興社
"	池部 敬子	須 賀 市	松宮(株)
"	八巻 常英	会津若松市	第一清掃(有)
"	岡 光義	会津中央市	(有)ひばり総業
"	紺野 竜一	いわき市	(有)勿来衛生社
"	嶋原 北斗	(協業)県南	(株)セイビ
"	渡部 洋紀	川 保 津 方 葉 馬 馬	(株)川俣環境
"	白水 勝成	南 会 多 相 南 相	(有)福島浄化
"	阿部 永子	喜 双 南 相	(有)昭和衛生
"	田原 義久	相 馬 相	(有)阿部衛生社
"	長尾 一雄	アメリティ石川	(株)昭和衛生センター
"	阿部 勝美	県	(株)長栄社
監	朝倉 寿淳	北 南 (協業)県南	アメリティ石川地方エコ・サービス協業組合
	齋藤 淳		朝倉産業(有)
			(有)白河衛生社

# 新県連委員会

- 浄化槽委員会
  - 委員長 松宮秀泰
  - 副委員長 田原義久・嶋原北斗
  - 委員 瀬戸崇志、根本正、塩沢亮、寺崎光広、根本貴弘、難波美徳、上石翔太、高橋純一、仲島良幸、野口翔人、星利通、渡辺正大、大内駿輔、後藤信也、渡辺幸孝、草野修一、紺野好久、横山雄一
- 廃棄物関連委員会
  - 委員長 齋藤 淳
  - 副委員長 本多幸雄・岡 光義
  - 委員 松宮秀泰、川田大輔、松崎圭、田村應季、白水和也、小野寺信、佐藤靖志、根本 綾、中野真也

# 新役員・委員などを選任

福島県環境整備は令和5年5月26日の通常総会・第2回理事会で新役員を選任した。また7月28日第3回理事会にてこれまで総務・浄化槽・廃棄物関連の3委員会から2委員会に改編し各正副委員長に県連理事を就任させることを決定し、続いて10月18日第4回理事会にて青年部員を各委員会に所属させ、理事会後に合同委員会を開催した。



郡山市で10月13日に行われた「合同委員会」

# 長年にわたり 本県の健全な浄化槽 維持管理に寄与

去る、令和5年10月2日に東京都市ヶ谷で開催された「浄化槽の日」第37回全国浄化槽大会にて、当県連にて長らく理事を務めるなど本県の健全な浄化槽維持管理に長年寄与されている郡山市環境整備事業協同組合理事長 浦部公伸氏が、環境省環境再生・資源循環局長表彰を受賞された。残念ながら、当日の上京は叶わなかったが、同月に開催された県連理事会の席であらためて山川会長から代理表彰が行われた。浦部公伸理事の今後の活躍を期待しております。

# 浦部公伸理事 環境省環境再生・資源循環局長表彰を受賞



# 全国環境連全国大会in浜松



令和5年10月30日、静岡県のアクトシティ浜松において、全国環境連第47回全国大会が開催された。第47回全国大会は、昨年の東京大会同様に1日開催で行われ大会式典、講演・パネルディスカッション、指針会議、大会宣言、懇親会が行われた。月末の月曜日開催という事もあり本会からは34名の参加に留まった。

「一般廃棄物の適正処理の推進について」と題して、環境省環境再生・資源循環局廃棄物適正処理推進課長の講演および「生活排水の適正処理と役割」をテーマにパネルディスカッ

ションが行われた。また「清掃率100%に向けた維持管理作業のデジタル化、区域別の実施」を盛り込んだ大会宣言が採択された。

次年度は、来年10月上旬に山形県山形市で開催される予定。

## 優良役員表彰

(株)山川衛生社 高橋 裕二

## 優良従業員表彰

\* 勤続20年の部 \*

会津清掃(株) 安部 造道  
高橋 進  
遠山 淳  
(敬称略)

# 全国環境連 北海道・東日本地区協議会 理事会・研修会開催

令和5年11月16日、宮城県仙台市のホテルメトロポリタン仙台において令和5年度北海道・東日本地区協議会理事会および研修会が開催された。本会から8名が参加。理事会では、先日全国環境連に入会された新潟県環境システム協同組合の加入が審議され承認された。また、今後の地区協議会総会・研修会および全国大会の地区内開催順番の再確認も行われた。来年度総会・研修会は当県で開催予定。研修会では、環境省 東北地方環境事務所資源循環課 課長

補佐 小池源一氏および宮城県環境生活部廃棄物対策課 施設班 技術主任 大塚智史氏を招いて「災害廃棄物の適正処理対策」について講演が行われた。東北における災害廃棄物処理計画の策定状況も報告され、令和4年度未処理、当県は59市町村中、策定済は26市町村に留まっていることが分かった。当県内でも多くの自然災害が発生していることも鑑み、今後はこちらも積極的に働きかけなくてはならないだろう。



# 協業組合 福島県南環境センター 創立50周年 感謝の会開催

令和5年9月30日、石川郡石川町の母畑温泉「八幡屋」において協業組合福島県南環境衛生センター(本多昌雄理事長)の創立50周年感謝の会が開催された。

地元 東白川郡四町村長他関係団体の方々約120名が出席し、県連山川会長をはじめ来賓の方々より祝辞を頂いた。式典では役員功労者、永年勤

続職員への表彰、記念品贈呈、壇上、柳倉町、矢祭町、鮎川村へ寄付金の贈呈が行われた。



またこの50周年を機に10月1日より協業組合から株式会社へ

法人格を移行し、代表取締役の本多昌雄氏が就任する事が発表された。

式典後の祝賀会では、マスターリック氏による超魔術ショーが行われ、招待者全員によるスパーン曲げなどを行的驚きのショーを楽しんだ。



# 須賀川地方クリーン事業協同組合 創立30周年記念式典・祝賀会開催

令和5年12月2日、「ホテルサニール須賀川」において、須賀川地方クリーン事業協同組合(小野寺仁代表理事)の創立30周年記念式典・祝賀会が開催された。地元 須賀川市・鏡石町・天栄村3市町村長他関係団体・職員のの方々約100名が出席し、県連山川会長をはじめ来賓の方々より祝辞を頂いた。

式典では、冒頭に組合の経緯、曲折を振り返る映像が上映され、その後、長らく当県連理事も務められた前代表理事の吉田孝行氏に感謝状が贈呈されると共に、組合各社職員23名に永年勤続表彰が行われた。

式典後の祝賀会では、乾杯後

に、奥州須賀川松明太鼓保存会の方々による、地元で420余年の伝統を持つ奇祭「松明あ



かし」の勇壮な太鼓が披露された。



# 青年部から

令和5年5月26日  
 郡山ヒューホテルアネックスにおいて、令和5年度青年部総会を開催した。出席者は16名、委任状出席5名。オブザー



## 総会で二人の新部員参加を承認

バ―出席2名。令和4年の事業報告および収支決算、令和5年の事業計画および収支予算の議事が承認され、最後に新人部員の入部が承認された。また46歳を迎えた4人の部員に卒業を祝う花束が贈られた。

- |              |       |
|--------------|-------|
| 新人部員         | 佐藤 淳  |
| (株)石城清掃社     | 中野 聡  |
| (株)信陵サービス    | 田村 隆幸 |
| 卒業           | 本田 光兵 |
| (株)白河衛生社     | (敬称略) |
| (株)いわき環境センター |       |
| 西沼 公彦(前)     |       |
| (株)大瀬清掃社     |       |
|              | 草野 修一 |
|              | 紺野 好久 |

### 人が集まる会社・人が育つ会社を目指す 研修会と意見交換会を開催



令和5年8月25日に郡山市郡山ヒューホテルにおいて研修会および意見交換会を開催した。最初に、一般社団法人福島県中小企業診断協会 専務理事 段林孝信氏を講師に迎えた「人が集まる会社・人が育つ会社を目指す」と題した講演が行われた。

段林氏は、「人財」が最大の資産であり、企業の未来は人財によって大きく影響されるという考えに基づいて長く企業内の人財育成に携わってきた。講演では、経営者・経営幹部・その候補者が押さえておきたい人事戦略や人事制度といった基礎知識、社会行動学やオリ―などの説明に続いて、「人事戦略は経



営戦略の重要な要素である」と紹介された。さらに、それぞれの会社にとって「優秀な人材の定義」を決めることが大切であり、入社してほしい人に集中的にアプローチすることで、「人が集まる」魅力的な会社になること、「退職防止」は、採用前から取り組めるといった話があった。また、人は育たないように育たないことから「人が育つ会社」になるかどうかは、経営者次第であると締めくくられた。

当日は瀬戸青年部長ほか1名と本多副会長が出席した。終了後は、同会場で講師を交えた意見交換会を実施。活発な意見が交わされた。

## 令和6年度通常総会

令和6年5月24日(金)

郡山ヒューホテルアネックスで開催

ご多用中と存じますが  
 何卒ご出席いただけましたようお願いいたします